

研究計画書

1. 研究課題 日本人の主観的幸福感・健康観の現状調査

2. 研究の概要

2・1 目的

急速なデジタル化社会の進展は、人類の平均寿命の延長、業種や働き方の多様化と共に、年金、保険や医療等の公的な枠組みから日々の社会生活に至る様々な領域において、これまでと異なるニーズや要件を顕在化させている。我が国においても、伝統的なライフスタイルを超え、これらの要求を満たす新たなライフスタイルを再定義していく気運が高まっている。とりわけ、食事、運動、睡眠、疾病や寿命等の医療・健康に帰属する要素は、ライフスタイルをデザインするうえで前提となる、重要かつ不可欠な要件である。近年、健康を考える上で、客観的で医学的なものだけでなく、主観的な側面、特に個人の生活、経験、価値観などが重視されている。

海外においても同様の動きがあり、オランダではポジティブヘルスと呼ばれる幅広い概念が構築され、この健康概念をベースにヘルスケアや地方自治体のコミュニティデザインなど様々な社会の分野に適用され始めている。

我が国における健康概念の拡張・充実は、身体・精神・社会的健康及び主観的な健康意識の度合いを評価・可視化する基準の形成を通じて、新たなライフスタイルに呼応した製品・サービスの効用やリスクを評価する社会技術の開発にも貢献しうる。

本研究は、我が国における健康概念の構築に向けて、主観的健康指標を個人の幸せにつなげるための基礎情報を得ることを目的とする。

※主たる共同研究先：株式会社インテージ

株式会社インテージと東京大学未来ビジョン研究センターは、総合的なライフスタイルを探求するための共同研究の取り組みを行っている。

2・2 方法

1) 過去内閣府で行われた、「満足度・生活の質に関する調査」、「国民生活選好度調査」、過去厚生労働省で行われた「健康意識に関する調査」およびオランダの新しい健康概念「ポジティブヘルス」の健康指標を参考にアンケート調査票を作成し、株式会社インテージによるインターネットモニターを通じて、インターネット調査を実施する。回答はスマートフォン、PCなどのブラウザで回答する。

2) 調査項目

- ・幸福度 (11段階 0点から10点)
- ・生活満足度 (11段階)
- ・生活分野別の主観的満足度 13項目 (11段階)
- ・健康状態 (4段階)
- ・健康観 (3つ選択)
- ・ポジティブヘルス 6次元による健康状態 (11段階)
- ・ポジティブヘルス妥当性評価
- ・ポジティブヘルス改善項目
- ・属性 (性別、年齢)

3) 分析方法

アンケート調査の結果をもとに、回答情報を集計し、分析する。

過去調査と現状調査との比較分析、さらには主観的指標および各属性との相関分析を一般人と医療従事者を対象に行う。

実施・収集期間	2020年6月末実施予定	研究期間	部局長承認後	1年
---------	--------------	------	--------	----

2・3 対象及び資料等

1) 対象 (研究参加者の属性と人数等)

エリア：全国

設計：回収ベース

調査参加者は、株式会社インテージ調査モニターより選択する。

<一般人> 2400人 (内訳 以下表参考)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代
男性	200	200	200	200	200	200
女性	200	200	200	200	200	200

<医療従事者> 300人

医師、看護師(看護師、准看護師、保健師、但し、助産師を除く)、薬剤師、理学療法士、作業療法士、栄養士、ケアマネージャー

2) 資料・情報

アンケート調査票(資料1)

本調査の実施については株式会社インテージが実施。調査結果を「日本人の主観的幸福感・健康観の現状調査」の研究を目的として東京大学未来ビジョン研究センターに提供される。

記録の保管期間は、株式会社インテージは提供後3年、東京大学未来ビジョン研究センターでは研究終了後3年。

調査票の説明文(資料2)

共同研究契約書(資料3：後日提出)

2・4 研究参加者の実体験

・他機関(インテージ)で収集した資料・データのみを用いるため、学内で新たな実体験はない

3. 研究を実施する施設とその役割

1) 該当する施設名とその役割(別途添付可)

研究実施施設

- i) 東京大学未来ビジョン研究センターライフスタイルデザイン研究ユニット：
調査企画、アンケート調査設計 データ集計後の分析・解析

2) (該当する場合) 学外施設での対応とその状況(別途添付可)

ii) 株式会社インテージ

アンケート調査設計、アンケート調査の実施・収集、情報の匿名化、データの集計・分析、資料・データ等の保存、共同研究契約締結(後日提出)

4. 研究における倫理的配慮

4・1 インフォームド・コンセント

1) 実施方法

調査実施機関である株式会社インテージが、モニター規約に基づき実施する。

2) 特に倫理的な配慮を必要とする研究参加者への配慮の有無と対応策 → あり (内容を記入) なし

4・2 個人情報保護

1) 本学における個人情報の有無とその種類 → あり なし

調査は、株式会社インテージを通じて実施されるために、本学における個人情報の取り扱いが発生しない。

2) 個人情報保護の方法

該当しない。

3) 研究期間終了後：個人情報の保存／廃棄方法

該当しない。

4・3 資料等の取扱

本学は、インテージ株式会社より個人が特定できないようにより加工された二次データを解析・分析のために使用する。データ原本は取り扱わない。

研究中及び研究終了後3年間において未来ビジョン研究センターの指定の場所に厳重に保管し、その後は廃棄する。

当該研究課題の範囲外で使用する可能性：なし

当該研究の研究従事者以外が使用する可能性：なし

5. 安全の確保

・株式会社インテージとの共同研究契約内で提供された資料等は、暗号化して利用しパスワードを付与して利用する。

6. 備考

・研究経費の内訳：今回のアンケート調査は、株式会社インテージ内との共同研究として実施するため、本学においてはアンケート調査費用負担はなし。